



「夕日は落ちて」 photo by Yuu Iwasaki

gyoshu NEWS #22

January 31, 2020

PUBLISHED BY 広報部

特集：空コンテスト

空コンテスト結果発表

今回の空コンテストでは、41作品の応募がありました。ご応募、誠にありがとうございました。広報部による厳正な審査の結果、下記3名の作品が入賞されました。おめでとうございますスカイ！表彰については後日、担当より連絡します。

・夕焼け賞：「黄昏時」西本満里さん（中3）



・スカイ賞：「夕暮れ時の友情」斉藤勇氣さん（高2）



・クラウド賞：「最後の思い出」入江麻姫さん（高2）



ボランティア活動報告

みなさんはボランティアに参加していますか？僕は先日「国立中央青少年交流の家」での「わくわくキャンプ」というイベントに参加してきましたのですが、一泊二日で小学生の子どもたちが新しいことに触れて、挑戦してみるためのサポートをしました。僕はこのボランティアを通して子どもたちが成長していったことが実感できてとても嬉しかったです。このボランティアに参加した子どもたちは学校や学年、男女も違い、誰もがお互いを知らないの初めは会話すらできなかったのにさまざまなプログラムをやっていくうちにだんだんと打ち解けて、子どもたちだけで話し合いをして問題を解決していく様子に驚きました。たった1日ほどしかない時間でしたが、子どもたちの成長の手助けになったことがとても貴重な体験になったと思います。

みなさんもボランティアに参加してみると何か貴重な体験ができると思います。国立中央青少年交流の家では他にもさまざまなイベントがあり、ボランティアも募集しているので参加してみてもいいかもしれません。



(高2・内藤)

唐突ですが、エコ甲クイズ〜〜〜！！

Q1. 2000年7月に金融監督庁と大蔵省金融企画局が統合して発足した行政機関はなんでしょう？

Q2. 保険に加入したことによって結果的に事故や病気に対する注意を怠りがちになる減少をなんというでしょう？

Q3. 日本の国債は現在いくらでしょう？

(答えは最後にあります)

12月中旬、静岡銀行の本店でエコノミクス甲子園の県大会が行われ、本校から2チーム4人が参加した。エコノミクス甲子園では、経済に関する様々な問題が出され、県内から集まったチームの間で全国大会を目指し火花を散らした。素晴らしいことに本校から出場した2チームはどちらも決勝戦に進出し、チームレオナルドは3位、チームBOYAは6位という快挙を達成した。エコ甲を通し、お金についての知識が増えただけでなく株などについての知識も増えた。来年も開催されるそうなので、経済に興味がある皆さんも是非参加してみてはどうだろうか。

【チームレオナルド沼上楽さんのコメント】

エコノミクス甲子園を通して自分が使っているお金の仕組みや社会での金銭の流れを知ることができる良い機会になりました。当初は金融と聞くと難しそうで、手をつけられないイメージがありましたが、エコ甲ではクイズ形式で問題が出題されるので楽しみながら金融を学ぶことができました。また、エコ甲に備えて自主的に勉強に取り組むことで、芽生えた金融に関する探究心や積極性を今後色々なことに挑戦するときに使いたいです。来年こそは優勝をし、全国大会に出場できるように励みたいと思います。

答え

Q1.金融庁

Q2.モラルハザード

Q3.1103兆3543億円

(高1・中原)

2月3日：節分

節分は一年に四回あることを知っているだろうか。

節分とは各季節の前日のことであり、立春、立夏、立秋、立冬の四つの前日のことを示すものである。つまり、節分は一年に四回あるのだ。しかし、ここで一つの疑問が浮かんだ。何故日本人の多くは立春の節分しか祝わないのか。これにも理由があり、何故この四つの中で立春の前日の節分を祝うのかというと、中国から太陰暦が伝来する以前の日本では命が生まれ出る春が一年の始まりだと考えられていた。昔の人々にとっては、立春が一年の始まりの日であり、立春の節分が一年の最終日だったため、立春の節分は日本人にと



っては特別であった。このことから、立春の節分は季節の変わり目の代表行事になったのだ。

節分では鬼に向かって豆を撒くが、立春は新年の始まりだったことを踏まえると、この豆撒きは新年の病気や災害などを払う行事だったということが分かる。そもそも、昔は季節の変わり目には邪気や悪霊が忍び込みやすく災いが生じやすい時、と言われていた。それを防ぐためその邪気を払うための行事が今の豆撒きのルーツだと言われている。その節分で使う豆だが、豆を使うのにも理由がある。五穀の豆には霊力があると信じられていたからだ。その他にも、使用する豆は炒る必要があるそうだ。理由は豆撒きに使われた大豆は旧年の厄災を負って使い捨てられるため、そこから根が生えてしまうと縁起が悪い。なので、豆撒きでは炒り豆を使用して欲しい。

豆撒きには鬼も重要な要素の一つだ。豆を撒く際には、「鬼は外、福は内」と言うが、みなさんは鬼と言ったらどんな姿を思い浮かべるだろうか。角が生え青や赤の皮膚をし、トラ柄のパンツを履いているおっかない顔をした姿を思い浮かべる人が多いだろう。中には今人気が高い鬼滅の刃の鬼や、鬼のお面をつけたお父さんを思い浮かべる人もいるかもしれない。その鬼の名前の由来は「隠（おぬ）」「陰（おん）」からきた言葉だ。この言葉から鬼とは目に見えないもの、良くないものという意味があることがわかる。「鬼は外」の鬼は邪気悪霊あるいは、厄災や障害の象徴であるため、災害や疫病は全て鬼のせいだと昔の人々は考えていた。このことから、鬼の言い伝えや、見た目はおどろおどろしく、物語などでも多くは悪者として書かれている。昔の人々は年の終わりに厄災を追い出し、新年の福を入れようとしたのである。

最後に、今年の節分は今年の節分は2020年の2月3日月曜日なので、是非家族と一緒に豆撒きをしてみてはどうだろうか。

【参考文献】

神崎宣武『47都道府県・伝統行事百科』丸善出版、2012年

(中1・中山)



【レンジなし!】簡単♡おいしい♡ オレオブラウニーで、 みんなのハートを射止めよう♡

みなさん!もうすぐ2月ですね!2月と言えば~?
バレンタイン!!!ですね!!
はい、ということで誰でも簡単にできるオレオブラウニーを紹介したいと思います。

【材料】

板チョコレート : 2枚 (100g 市販の板チョコ)
バター : 50g
卵 : 1個
お砂糖 : 大匙1~4
ホットケーキミックス : 1袋
オレオ : 6枚ぐらい

【レシピ】

- ①分量の板チョコを手でわり、バターと合わせて耐熱皿にいれレンジで60秒加熱。
 - ②溶けたらボウルに移し、卵を入れ泡立て器でよく混ぜ合わせます。甘いのが好きな方はここに砂糖を入れます。
 - ③その後ホットケーキミックスを入れゴムへらでぎっくり混ぜます。
- ※レンジ可能な四角い容器を用意します。タッパーなども使えます。
- ④容器にクッキングシートをひく
 - ⑤生地を流し込み、1/2~1/4にカットしたオレオクッキー、お好みでマシュマロ等を重ならないように敷き詰める。
 - ⑥ラップをせずに、600Wで3分30秒~5分ぐらいレンジでチン。
 - ⑦粗熱をとって切り分ける。

これ、去年私も作っているいろんな人に配り歩いたのですが、大好評でした。何より本当に簡単で、10分ぐらいで完成しちゃいます!ちなみに、クルミやマシュマロを入れても絶品ですよ(^^)♡ ぜひ、皆さんも作って気になるあの人や大好きな友達野ハートを射止めて下さいね☆ミ



【参考】

<https://www.google.co.jp/amp/s/gamp.ameblo.jp/syunkon/entry-11986775879.html>

山本ゆり【めっちゃオススメです】レンジで！完成まで12分。オレオブラウニー（バレンタインに）



（高1・中原）

席 替 え の 本 音

皆さんは席替えで一番嬉しい場所はどこですか？やっぱり仲のいい友達の隣とか、先生に目のつけられないところとかですかね～（笑）でも、それぞれ席替えで嬉しい場所は違ってくると思います。そこで、1年4組だけですが「一番席替えで嬉しい席はどこ？」というアンケートを取ってみました。

様々な回答をいただいたのですが、中でも一番多かったのは、友達の隣でした！やっぱり仲のいい友達の隣になると楽しいし、一安心するのではないのでしょうか？中には、友達の近くならどこでも大丈夫との回答もいただきました。

そして、次に多かった回答なのですが、窓側でした！これは夏になって窓を開けて風が吹けば、快適なことでしょう！それに、外の景色も眺めることができますからね。

窓際の次に多かったのは、後ろの方の席でした。やっぱり前の方にいると「なんだか嫌だなー」と思ってしまうときがあるのではないのでしょうか？そこで、後ろがいい！！との回答も多かったです。人それぞれですが、一番前の列になってしまい、早く席替えして欲しいなーと思うことがあると思います。

そして、次に多かったのは先生に目をつけられない場所でした！皆さん一度は先生からばれにくい、死角を探したことはありませんか？やはり、教卓の目の前はちょっとキツイかもしれませんね。そして、アンケートの回答であったのは、少し端寄りの列の真ん中あ

たりが、あまり先生の目につかない死角のような場所、だそうです。

そしてその次に黒板が見える所も多かったです。黒板がしっかり見える所、これはかなり重要なのではないのでしょうか？もちろん、これも人それぞれですが、「あー、見えない、よいしょ」と動くこともあるかもしれませんね。

窓側や後ろ、廊下に死角、そして友達の隣など、みんなそれぞれいろんな意見があるので、みんなが希望する場所はひとつに集中しているわけではないということがわかりました。やはり毎月席替えをして、それぞれにいろんな場所が変わって見て、毎月楽しみましょう！それでは、皆さんの希望が叶うといいですね。

（中1・佐藤）

～空コンテスト番外編～

残念ながら入賞とはなりませんでしたが、応募作品を紹介します。



「空のパレット」 粥川李朋さん（中1）



「働き時間」 堤春歌さん（中3）

